

鶴岡市障害福祉計画（案）への主なご意見とそれに対する市の考え方

No	意見概要	意見に対する市の考え方
1	<p>(意見)</p> <p>主な障害福祉施策の現状について（P 4～P 2 3）</p> <p>計画を策定するうえで現状認識・現状分析が重要と考えます。第5期障害福祉計画には、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳等の障害種別・年度別取得者数の推移等の詳細にわたって現状認識・現状分析が行われていましたが、第6期障害福祉計画にはこれらが掲載されていません。</p> <p>第6期障害福祉計画についても第5期まで積み重ねたデータを継続して加えていただきたいと思います。</p>	<p>第6期障害福祉計画の策定にあたっては、障害者手帳等の現状や第5期障害福祉計画の進捗状況及びアンケート調査等を踏まえ、成果目標値の設定及びサービス見込量を設定しております。</p> <p>障害者手帳所持者の推移データについては、6期障害福祉計画【概要版】に5期計画策定時との比較データを掲載し、また、市ホームページ〔健康・福祉・医療〕サイトにある「健康福祉の概要」においても、年度別・等級別の障害者手帳推移を掲載しておりますので、ご参照いただくことをご了承願います。</p>
2	<p>(意見)</p> <p>「行動援護」「重度障害者等包括支援」について（P 3 9）</p> <p>「行動援護」「重度障害者等包括支援」は、ニーズの動向を踏まえ、事業者の積極的な参入を促進するため、介護職の人材育成及び提供体制の整備を検討していきます、とあります。「第5期障害福祉計画」にも同様の記載がありました。この3年間、どう検討したのでしょうか。具体的に、事業者の参入をどう促進するのか、介護職の人材育成、提供体制をどのように整備するのか、記載すべきです。</p>	<p>現在、「行動援護」「重度障害者等包括支援」サービスにおける障害者ニーズについては、市障害者地域自立支援協議会相談支援部会を中心にホームヘルプ事業所等と個別支援会議等を重ね、その動向把握に努めている状況にあります。</p> <p>今後、ニーズ動向を取りまとめ、サービス事業所と協議したうえで具体的な対応を図っていきたいと考えております。</p>

No	意見概要	意見に対する市の考え方
3	<p>(意見)</p> <p>「公営住宅のグループホーム化」について</p> <p>福祉施設の入所者の地域生活への移行 (P 3 4)</p> <p>《目標達成に向けた施策の方向性》住まいの場の確保について、グループホーム事業所の新規開設や公営住宅の利用促進を図るとともに、「公営住宅のグループホーム化」についても実施に向けて検討を進めます、とあります。「第5期障害福祉計画」にも同様の記載がありました。この3年間、どう検討したのでしょうか。一般的には「公営住宅のグループホーム化」は制度上の制約もあり、難しいのではと考えます。仮に、民間法人が取り組むとしても、公営住宅である以上、鶴岡市の具体的な方針が明確化されなければ事業は進みません。このことを含めて具体的に記載すべきです。</p>	<p>現在、社会福祉法人等による市営住宅のグループホームでの使用については、国の承認を条件に、市営住宅の管理に支障のない範囲で既に可能となっています。使用については、事業を行う法人が市建築課へ申請を行い、内容審査により決定されるものであります。</p> <p>福祉課としては、民間住宅の活用や新設によるグループホーム事業所の状況を見ながら、市営住宅のグループホーム化が円滑に行われるよう、基準要件等について、建築課と障害福祉サービスの指定権者である県を含め協議を行い対応していきたいと考えています。</p>
4	<p>(意見)</p> <p>①地域生活支援拠点の整備について</p> <p>地域生活支援拠点の整備は、第6期障害福祉計画の重点課題と考えます。鶴岡市においても、障害者の重度化、高齢化、「親亡き後」を見据え、障害者やその家族の願いに応えられるような地域生活支援拠点の整備を行っていただきたいと思えます。</p> <p>②地域生活支援拠点の検証会議について</p> <p>地域自立支援協議会(相談支援部会)が検証するとありますが、現状は、障害者に関する地域課題や個別案件が、全てこの部会に委ねられているように感じています。地域生活支援拠点に関する検証が形骸化されるのではと危惧しています。</p>	<p>地域生活支援拠点の整備については、市障害者地域自立支援協議会相談支援部会を中心に、平成29年から関係事業所等と協議・説明を重ね、令和3年4月より、緊急時受入利用の手続き等事業を開始いたします。</p> <p>今後においては、市障害者地域自立支援協議会による事業の検証・検討を行い、障害者やその家族にとって、よりよい制度となるよう努めてまいります。</p>